

大森志郎 （1887-1951） 文化史學者、文學博士。明治二十八年一月四日福島
縣須賀川生れ（一九五一）。昭和二年東北帝國大學法文學部卒。滿洲教
育専門學校教授、滿鐵（南滿洲鐵道株式會社）撫順圖書館館長、建國
大學教授歴任。戰後東京女子大學教授。

著書 『上代日本と支那思想』（大森志郎名、昭和十九年一月十五日拓
文堂）、『ひろののはて』（歌集、昭和二十九年七月印刷、福島・無
刊記）、『米と人口の歴史』（昭和二十年十一月五日元々社「民族教
養新書」）、『日本のあけぼの―建國と紀元をめぐって』（合著・三
笠宮崇仁編、昭和二十四年二月五日光文社「カッパ・バックス」）、
『やまたのさろち』（昭和四十五年一月十五日學生社）、『たつたひ
このり』の漱石忌』（昭和五十年七月十五日八坂書房）等。

